

施策分類	まちづくり			
代表的な事業	トランジットモール、都心居住の促進等			
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を利用しやすい「まち」の形成により、公共交通利用促進、自動車利用の削減が実現し、CO₂削減。 ・中心市街地の活性化や人々の回遊性の向上等、地域経済が活性化。 			
モデル事業を通じて明らかとなった課題(うまくいかなかった例)	●地元との情報交換・合意形成			
	<ul style="list-style-type: none"> ・各施策、事業においても関係主体間の合意形成を取る必要があるが、特に「まちづくり」の観点では、関係主体が広範囲に及ぶため、合意形成に多大な時間とコストを要することがある。 			
	事業例	明らかとなった課題・うまくいかなかった点		
	トランジットモールの導入検討	トランジットモールの整備では、地元や警察等、関係者の合意形成に時間がかかることが課題であった。		
	都心地区再生プロジェクト(トランジットモール社会実験)	配送車も対象とした交通規制に伴い交通環境が悪化したため、荷捌きスペースを保有していない商店の配送時間や配送方法を定めることが課題。		
	●再開発事業の一環で行う事業の場合、地区割りの影響で時間が掛かってしまう可能性がある。			
	<ul style="list-style-type: none"> ・再開発の各地区を貫く道路を整備するような場合、道路のみならず地区単位の進捗が影響する可能性がある。 			
	事業例	明らかとなった課題・うまくいかなかった点		
	再開発事業と一体となった拡幅による渋滞解消	再開発事業を主とした道路整備であったため、非常に多くの時間を費やした。		
取組推進上のポイント	①まちづくりのビジョンを提示			
	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能かつ環境に配慮した交通計画とまちづくりを目指すにあたり、目指す将来像を提示することにより、市民や関係主体の動機付けに繋がる。 			
	事業概要	事業推進上のポイント	持続性	地域
	都市圏交通マスタープランづくり	モビリティ・マネジメントによる暮らしや意識への働きかけや、土地利用と交通施策の融合、公共交通の視点からのデータ整理など、府民の目線での施策検討を中心に据えたプランとした。	策定完了	京都府
	まちづくり事業	地域資源であるLRT、まち並みや整備によって生まれた回遊ルートなどを活用し、地域住民でのまちづくり活動を進めることによって、地域の活性化、観光入込客数増につなげ、経済と交通環境の好循環を推進したい。	行政補助なしで自立して取組み継続	富山市
	②関係主体間での情報交換			
	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりには、市民や地元事業者等の多様な主体が関わっているため、合意形成に時間を要する場合があります。 ・そのため、関係主体間での緊密な連携とともに、継続した協議・検討がポイントとなる。 ・また、その際には、上記ビジョンによる課題や方針の共有化が望まれる。 			
	事業概要	事業推進上のポイント	持続性	地域
	トランジットモールの整備	(関連道路)整備にあたっては、地区まちづくり協議会において整備計画や、まちづくりの方向性及び道路整備と景観整備、交通体系の方針について協議を行った。	事業完了 (トランジットモールについては継続協議・検討)	松山市
	オムニバスタウン計画	各施策効果を早期に発揮していくためには、各施策間の連携が必要であり、庁内の「アクセス30分構想推進計画検討会」や関係機関からなる「公共交通利用促進検討会」などを中心に密接な連携を図り、事業を進めた。	補助事業を活用して取組み継続	仙台市
駅及び駅周辺のバリアフリー化基本構想の策定	バリアフリー基本構想の作成にあたって、行政機関、事業者、住民等の幅広い関係者が参画することで、関係者間の相互理解が深まり、スムーズに事業が実施できた。	自立して取組継続	大阪市	
交通結節点改善を目的とした駅前広場整備事業	福山駅周辺整備推進協議会(国、県、市、交通事業者、市民等で構成)を通じて調整。 <ul style="list-style-type: none"> ・車両動線と極力交錯しない安全性・利便性等に配慮した歩行者動線の確保を図る施設整備。 ・公共交通の利用促進を図る施設整備。 ・市の玄関口としての都市景観形成。 ・全ての人にやさしいユニバーサルデザイン(バリアフリー等)に配慮した施設整備。 	補助事業を活用して取組継続	福山市	

施 策 分 類	まちづくり			
取組推進上のポイント	③事業の周知、PR			
	・まちづくりの推進には、多様な意見を反映させることが重要であり、様々な立場の住民や事業者に積極的に取組情報をPRすることが必要である。			
	事業概要	事業推進上のポイント	持続性	地域
	中心市街地でのトランジットモールの導入を想定した社会実験	チラシや地元ラジオ番組でのPRなど積極的に広報活動をした。	社会実験完了	八戸市
	④地元産品の利用、地産地消			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の目に触れやすい施設やシンボリック施設に地元産の材料等を取り入れることにより、地域らしさや親しみのあるまちづくりに役立つ。 ・地元の住民や事業者の興味を呼び起こし、まちづくりへの参加を促すことにもつながる。 				
事業概要	事業推進上のポイント	持続性	地域	
県内産間伐材を活用した木製防護柵の整備推進	<ul style="list-style-type: none"> ・甲子園尼崎線の防護柵に間伐材を活用した。 ・間伐材の利用にもつながる。 	整備完了	兵庫県	